

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2022
1月
No.92

 兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより



[巻頭]

新年のごあいさつ



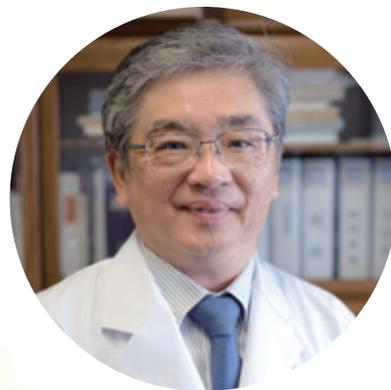
[診療科紹介] 感染症内科

- [AGMCニュース] 病院機能評価が上がりました
- ぶらり〜っと病院探訪
- マスク着用のご協力をお願いします
- 面会禁止のお願い
- 患者の権利・義務憲章



院長 新年のご挨拶

謹賀新年



兵庫県立
尼崎総合医療センター
院長 平家 俊男

新型コロナウイルス感染症が世界的規模で拡大し、現在に至っております。この間、地域の皆様から多大なるご支援を頂戴しながら、様々な困難に取り組んでくることができました。あらためて感謝申し上げます。これからも“with コロナ”下での地域を支える医療機関として歩みを進めていきます。

「兵庫県立尼崎総合医療センター（AGMC）」は開院6年が経過し、第2ステージの成長過程に入っています。継続して「目指すこと」3項目は、（1）本格的な地域完結型医療の推進・充実！（2）医療のみならず、マネジメント・サービスでもトップの病院！（3）量から質へ！です。

新型コロナウイルス感染症

令和3年12月現在、感染者数が劇的に減少していますが、感染力の強い新しいオミクロン変異株の出現に直面しています。一方で、ワクチン接種が先行したはずのヨーロッパ、米国、また隣の韓国等において、従来のデルタ株の爆発的な感染、併せてオミクロン株への置き換わりに遭遇しています。我が国でも、3回目のワクチン接種が開始されましたが、引き続きの感染拡大防止対策の継続は必須事項です。

量から質へ

高度専門医療の充実（特になんぞ診療の充実）、地域完結型医療の推進・充実、それを実現するためのPFM（patient-flow-management）の充実（外来・入院・退院・転院・在宅・介護全体を見渡す対応）、医療安全、職場環境、待遇等、様々な局面での一層の質的面で充実を進めていきます。令和3年度には、国指定の地域がん診療連携拠点病院に選定されました。また、地域連携医療を一層すすめるために、令和4年度からは、患者サポートセンターの建築にも着手します。引き続き、診療、それを支える基盤、何よりも職員一同のマネジメント・サービスの力を深めていきます。

併せて、足元も固めて

AGMCが誕生して6年。やっとAGMCは乳児期・幼児期を過ぎた段階にあるともいえます。しかし、私達はここでこの現状に甘んじていることはできません。

落ち着いて、「足元を固め、当たり前を確認に当たり前にする」ことを継続します。

新型コロナウイルス感染症が、まだまだ世界中で蔓延しています。私たちの社会生活スタイルを根本から見直さざるを得ない、前代未聞の事態に陥っています。このような困難な状況を受け入れ、社会が必要とする医療を継続して提供できるよう、成長し続けていきます。

あらためて、地域、社会の皆様には、暖かいご支援とともに、叱咤、激励を宜しく申し上げます。

令和4年 元旦
兵庫県立尼崎総合医療センター 院長 平家 俊男

感染症内科

感染症診療を通して、 院内を、地域を、県を、よくしたい

当院は第二種感染症指定医療機関、エイズ治療拠点病院、新型コロナウイルス感染症重症等特定病院に指定されています。様々な感染症に対して適切な対応と最新の医療を常に提供する体制を整えています。また、院内外において感染症に対する正確な知識の普及を定期的に行っています。

兵庫県立病院の中で、感染症内科を標榜し感染症専門医が常勤しているのは当院と兵庫県立こども病院のみです。



感染症内科 医長

松尾 裕央 (まつおひろお)

- 日本感染症学会認定感染症専門医
- 日本エイズ学会認定医
- ICD協議会認定Infection Control Doctor
- 日本肝臓学会認定肝臓専門医
- 日本消化器病学会認定消化器病専門医
- 日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医
- 日本内科学会認定内科医
- 日本内科学会認定総合内科専門医
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定
プライマリ・ケア認定医・指導医

当科にローテートしてくれた研修医と記念撮影

前列、2列目 研修医のみなさん

最後列左から 小山、伊藤(渉)、松本 (ER総合診療科)、松尾、生方

入院中の発熱から海外帰国後の発熱まで、また寄生虫疾患やダニ咬傷など、臓器によることなくありとあらゆる感染症に対応しています。院内では、おもに主治医から依頼された患者さんの診察に伺い、診断・治療について主科とともにチーム医療を行っています。年間約800症例の院内コンサルトに対応しています。

我々の使命は、患者さんに適切で質の高い感染症診療を提供する事のみならず、感染症診療という扉を通して病院全体、地域、県の医療をよくする事だと考えています。短期研修生の受け入れや地域医療への参画も積極的に行っています。

カンファレンス
風景



患者さんや
地域医療機関への
メッセージ

感染症はともすれば偏見につながりかねない疾患です。
適切な知識で適切な医療が院内全体として提供できるように心がけております。
受診時は地域連携室を通してご紹介ください。





病院機能評価が上がりました!

尼崎総合医療センターでは、日本医療機能評価機構による評価を昨年10月に受審し、このたび中間的な結果報告を受けました。

89の評価項目のうち、当院は要改善の指摘がなく、特に秀でていると評価された項目が6項目と、前回の受審から更に良い結果を頂くことができました。



認定マーク

【病院機能評価とは?】

病院を対象に、第三者機関である日本医療機能評価機構が、組織全体の運営管理および提供される医療について、患者さんの目に触れない部分も含めて評価し、病院の優れている点や課題を明らかにするものです。

全国の病院の25%(約2,200施設)が病院機能評価の認定を受けています。



院内の活動の様子 (ケアプロセス調査の模擬)

認定期間は5年間で、尼崎総合医療センターでは平成29年1月に認定されたため、更新を行うために昨年10月にあらためて受審しました。

初回の認定から、医療の質を維持・改善するために、各職種の職員が集まった委員会を立ち上げ、一丸となって改善の取組みを行ってきたことが、今回の受審で良い評価に繋がりました。



患者さんや地域医療機関へのメッセージ

当院はこれからも、阪神地域の総合的な基幹病院として安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを提供すべく、病院全体で向上していけるよう、努力していきます。



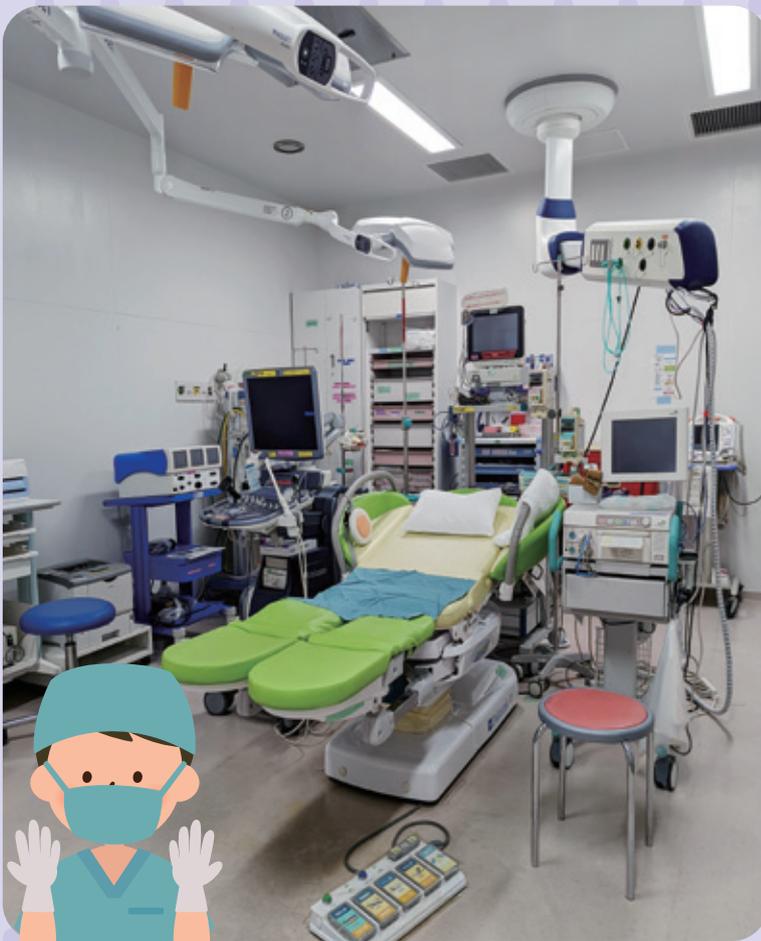
ぶらり〜っと 病院探訪

ハイリスク分娩室



今回は産科病棟内にあるハイリスク分娩室について紹介します。

当院は総合周産期母子医療センターに認定されており、正常妊娠はもちろんのこと、合併症妊娠や早産、多胎妊娠（双子以上の妊娠）といったハイリスク妊娠・分娩に対応しております。年間約100件の母体搬送を受け、年間約50例の多胎妊娠の管理を行っております。



このハイリスク分娩室は、通常の分娩管理時に必要な分娩監視装置や超音波装置だけでなく、分娩進行中に緊急帝王切開が必要になった時にスピーディに移行できるように、麻酔器も設置しております。

これからも全ての妊婦様に安全な出産をして頂けるようスタッフ一丸となって尽力してまいります。



ご寄附のお願い

当院は、地域の皆様とともに、より地域に開かれた病院づくりを進めていくため、寄附を受け入れております。

皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●寄附の用途

ご寄附の趣旨に沿って、当院の運営のための機器購入や臨床研究、スタッフ育成など、幅広く活用させていただきます。

●寄附のお申し込み・お問合せ先

兵庫県立尼崎総合医療センター 総務部総務課
〒660-8550 尼崎市東難波町2-17-77
TEL.06-6480-7000(代表)



DONATION

お知らせ掲示板



不織布マスクの正しい着用をお願いします

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外来患者さんをはじめご来院の方には、マスクの着用をお願いしているところです。

入院中の患者さんにつきましても、医学管理上マスク着用が困難と判断した場合は除き、マスクの着用をお願いしております。

なお、ウレタン、布マスクでは著しく感染防護効果が落ちることが知られていますので、入院時には、ウレタン、布マスクではなく、不織布マスクの準備をしていただきますようご理解、ご協力をお願いします。

面会禁止のお願い



当院では面会を全面的に禁止しております。なお、患者さんの着替えなどの荷物の受け渡しは病棟職員が対応しますので、防災センターにお声がけください(11時～18時)。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

理念

高度・良質な医療による社会貢献

基本方針

- 阪神地域中核病院としての「高度専門・救急医療」
- 患者・医療者、お互いの「納得・安全・チーム医療」
- 救急・紹介を「断らない医療」
- 住民・患者・医療者・福祉・介護・行政が全体で1つの「地域医療」
- 医療水準向上のための「教育・臨床研究・自己研鑽」

患者の権利・義務憲章

患者さん・医療者共に協力して「患者さんの権利」と「患者さんの義務」を尊重し守る

【患者の権利】

1. 公平に医療を受ける権利
社会的な地位、疾病の種類、国籍、宗教などにより差別されることがなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利
2. 一人の人間として、尊重される権利
各々の人格、価値観が尊重され、患者・医療者が互いに協力して、医療をつくり上げていく権利

3. 納得医療の権利

医療提供者から説明と情報提供を受ける権利／自分の意志で治療方法等を決定する権利／希望しない検査や治療を断る権利

4. セカンドオピニオンの権利

複数の専門医等の意見を求める権利／他の医療機関に変わることもできる権利

5. 診療情報の提供を求め、自分の意見を述べる権利

6. プライバシー保護の権利

診療の過程で得られた個人情報を守られる権利

7. 臨床研究についての権利

目的・危険性について情報提供を受ける権利／参加するかどうかを決める権利／途中で中止を求める権利／参加しなかった場合でも不利益を受けない権利

【患者の義務】

1. 医療者側に情報を知らせる義務、理解できるまで質問する義務
家族の状況、既往歴、病状の変化、現在の症状等を、正確に知らせる義務／医師等の説明で、よく理解できない点を理解できるまで質問する義務
2. 医療に意欲を持って取り組む義務
合意した検査・治療方針に自ら意欲をもって取り組む義務
3. 規則と指示を守る義務
病院内の規則や指示を守り、他の患者に支障を与えない義務／不利益を受けない権利



編集後記

まだまだ寒い日が続きますがみなさんお身体は崩さず過ごせているでしょうか。2021年も新型コロナウイルス感染症に振り回された1年になってしまった反面、東京オリンピックで世界レベルの技に興奮し、地元兵庫県ではオリックスバファローズの日本シリーズ進出や、ヴィッセル神戸のリーグ3位躍進など明るい出来事も多くありました。2022年も明るい年になるようスタッフ一同、心より願っています。皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索